



宗像の郷「中央学園」宗像市立中央中学校 令和6年度

学校だより 11月号

教頭 安高 光家

〒811-3437 福岡県宗像市久原244番地 TEL36-2041 FAX37-1383

7年(男子72名 女子80名) 8年(男子69名 女子69名) 9年(男子72名 女子72名) 合計434名

むなかた子ども大学の日ボランティア ～ 東郷小・南郷小にて、中学生が活躍しました～

11月9日(土)に『むなかた子ども大学』が宗像市立小学校で開催されました。中央学園では毎年、東郷小学校と南郷小学校に中央中学校の生徒が、ジュニアボランティアとして活躍しています。

東郷小では、茶道やプログラミング、和菓子作り、造園業や塗装の仕事体験などたくさんの活動をサポートしました。南郷小では、1・2年生を中心に「むかし遊び」や「おもちゃづくり」のサポートをしました。中学生が積極的に小学生に関わり、自ら楽しみながら人を喜ばせる姿や人を楽しませる姿がありました。

小学校の先生からは、『中学生が優しく教えてくれた』『小学生に寄り添いながら楽しく工作物で遊んでくれた』など、中学生の成長した姿にとっても感動され、たくさんの感謝の言葉をいただきました。

このような自分の意志で参加し、自分で考えて行動する姿は、本校の目指す子どもの姿の1つである『自主自律』を体現していると言えるのではないでしょうか。



南郷まつりボランティアと出店 ～ 地域を盛り上げる・役に立つ人を目指して～

『むなかた子ども大学』と同一日に、南郷コミセンの『南郷まつり』が開催されました。中学生は、プログラム委員会・会場準備・出演者・出店者として、まつりをプロセスから楽しみ、そんな仲間を応援しようと多くの生徒が見に来ていました。特に「プログラム委員会」は、9月中旬から何度も会議を重ね本番に備えました。また、女子バスケットボール部と9年4組の生徒は、出店のために昼休みや放課後を使って準備をしてきました。

多くの中学生が関わることによって、地域の祭りを盛り上げることができました。本校の目指す子どもの姿の1つである『郷土愛』の高まりが感じられました。



宗像地区中学生英語スピーチコンテスト ～ 自分の意見を英語で発表しました～

11月9日(土)に、令和6年度宗像地区中学生スピーチコンテストが福津市文化会館「カメラリアホール」で開催されました。このコンテストは毎年行われ、最優秀賞・優秀賞に選ばれると、福岡地区中学生スピーチコンテストへの出場権が与えられるものです。

本校からは、昨年度に引き続き9年生の宮柱朱里さんが『A Man Called "Hands of God"』というタイトルで、フリーの部に出場しました。内容は、子ども大学特設講座で講演していただいた、服部匡志(眼科医)さんの話で感銘を受け、自分の将来への道を見つけることができたことについてでした。

身振り手振りを交えながら表現豊かなスピーチをしてくださいましたが、惜しくも次点で、次の大会に進むことができませんでした(12月8日の宗像ユリックスで行われる「宗像地区中学校文化連盟総合文化発表会」で、再度、発表をしてくれる予定です)



中体連新人大会 ～ 各会場では、一生懸命に頑張る姿がありました～

令和6年度宗像区中体連新人大会(陸上部は、筑前地区大会から)が、9月28日(土)の陸上競技大会を皮切りに行われました。

どの部活動も、最後まで諦めずに一生懸命に試合に臨む姿がありました。その中でも、筑前地区大会には、団体の男女剣道部と柔道(社会体育)が、県大会には、陸上部(春山尊:男子砲丸投げ、植山想太:男子走高跳)が出場しました。どの会場でも、仲間とともに上位の大会を目指して必死に頑張る姿を見ることができました。



12・1月の主な行事

12月 2日(月)	「三者面談」～9日(月)
8日(日)	「宗像地区中学校文化連盟総合文化発表会」(宗像ユリックス)
10日(火)	「学校の日」「第4回 学園運営協議会モニター会」
19日(木)	「クラスマッチ」(9年生)
23日(月)	「大掃除」
24日(火)	「終業式」
1月 7日(火)	「始業式」
9日(木)	「宗像市人権・同和教育実践交流会」
10日(金)	「宗像市統一学力テスト」(9年生)
13日(月)	「成人の日」
14日(火)	「修学旅行説明会」(8年生)
16日(木)	「生徒会専門委員会」
16日(木)	「福岡第一・薬科大付属高校パラマ入試」～17日(金)
24日(金)	「福岡地区私立専願・北九州地区推薦入試」
30日(木)	「公立高校特色化選抜・推薦入試及び博多青松高校I期入試」～31日(金)
31日(金)	「宗像市統一学力テスト」(7・8年生)「第5回 学園運営協議会」

